

岡山県金融経済月報

(2021年4月)

1. 概況

県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響による弱さが続いているものの、着実に持ち直している。

最終需要をみると、個人消費は、全体としては持ち直している。設備投資は、業種間のばらつきを伴いながら、全体としては増加しつつある。住宅投資は、高めの水準となっている。公共投資は、高水準で推移している。輸出は、低水準が続いている。

こうしたもとで、県内主要製造業の生産は、緩やかに持ち直している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は弱めの動きがみられているほか、雇用者所得も下押し圧力が強い状態にある。

2. 実体経済

(1) 個人消費

個人消費は、感染症の影響が足もと和らぎつつあるもとで、全体としては持ち直している。

百貨店・スーパー売上高は、持ち直している。乗用車販売は、持ち直している。家電販売は、底堅く推移している。この間、主要観光地への入り込みは、前年を下回った。

(2) 設備投資

県内企業の設備投資は、業種間のばらつきを伴いながら、全体としては増加しつつある。

21/3月短観調査における設備投資額は、20年度は、製造業、非製造業ともに幾分減少する計画となっている。21年度は、非製造業が減少する一方、製造業が増加することから、全体では増加計画となっている。

この間、着工建築物床面積(非居住用<12月~2月>)は、前年を下回った。

(3) 住宅投資

住宅投資は、高めの水準となっている。

2月の県内新設住宅着工戸数をみると、貸家系は前年を上回ったものの、持家系が前年を下回ったため、全体では前年を下回った。

(4) 公共投資

公共投資は、高水準で推移している。

発注の動きを示す県内公共工事保証請負額をみると、2月は、「国」や「県」を中心に前年を上回った。

(5) 輸 出

輸出は、低水準が続いている。

2月の県内輸出（通関実績）をみると、石油製品や鉄鋼を中心に前年を下回った。

(6) 生 産

県内主要製造業の生産は、緩やかに持ち直している。

1月の県内鉱工業生産指数（直近計数）の季調済前月比は、2か月連続で上昇した。

主 要 製 造 業 の 生 産 動 向

業 種	足 も と の 動 向
自 動 車	持ち直している。
鉄 鋼	低めの水準で推移している。
化 学	持ち直している。
石油・石炭	大規模定期修理の影響から生産水準は低下している。
造 船	幾分低めの操業となっている。
織 維	弱めの動きとなっている。
電気機械	高操業となっている。
窯業・土石	緩やかに持ち直している。
農 機 具	持ち直している。
工作機械	下げ止まりつつある。

(7) 雇用・所得

労働需給は引き締まった状態が続いているが、感染症の影響による弱めの動きがみられている。雇用者所得も感染症による下押し圧力が強い状態にある。

労働需給面をみると、2月の有効求人倍率は、前月比上昇した。1月の所定外労働時間は、前年を下回った。

雇用面をみると、1月の常用労働者数は、前年を下回った。2月の解雇者数、雇用保険受給者数は、ともに前年を上回った。

賃金面をみると、1月の一人当たり現金給与総額は、前年を下回った。

(8) 物 価

2月の岡山市消費者物価指数（2015年基準、生鮮食品を除くベース）は、光熱・水道や交通・通信を中心に前年を下回った。

(9) 企業倒産

2月の県内企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額10百万円以上）をみると、倒産件数、負債総額ともに前年を上回った。

3. 金 融

(1) 実質預金

2月の県内実質預金をみると、全体では前年を上回った。

(2) 貸 出

2月の県内貸出をみると、全体では前年を上回った。

(3) 貸出約定平均金利^(注)

2月の新規貸出約定平均金利（総合ベース）は、前月比上昇した。ストック金利(同)は、前月比低下した。

(注) 貸出約定平均金利の2020年5月分以降の計数については、地方公共団体からの利子補給分を含めたベースに切り替えることに伴い、順次遡及訂正を実施しています。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。
〒 700-8707 岡山市北区丸の内1-6-1
日本銀行岡山支店総務課 TEL 086-227-5111(代表)
FAX 086-227-6350
ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/okayama/>



知るぼると 岡山
はこちら！！

